EU Indicators

欧州経済指標コメント：２月ドイツＺＥＷ景況感

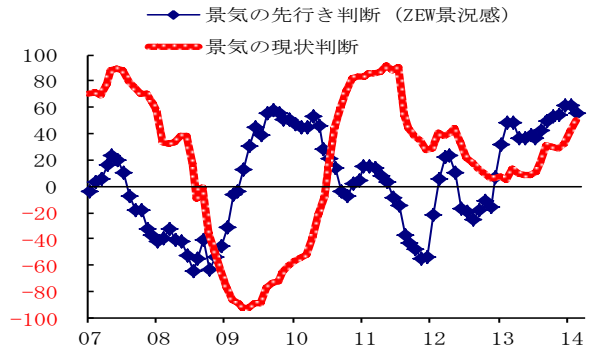
発表日：2014年2月18日（火）

～新興国激震の余波が業況の重石に～

第一生命経済研究所　経済調査部
主席エコノミスト　田中　理
03-5221-4527

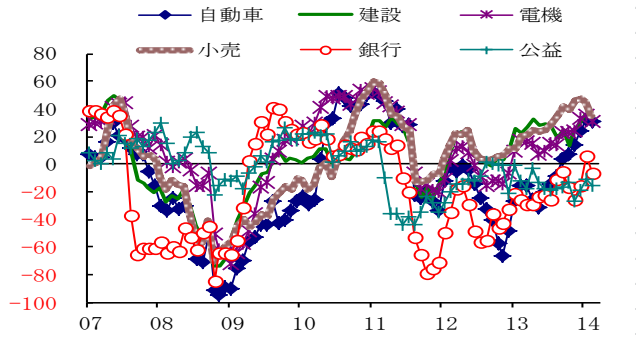
- ２月のドイツのＺＥＷ景況感指数（市場参加者による半年先の景況感）は55.7と、2006年４月以来の高水準を記録した昨年12月（62.0）をピークに２ヶ月連続で改善モメンタムが鈍化した。低下後も過去平均（24.2）を大きく上回る高水準を維持しているが、市場参加者の間でドイツ景気に対する楽観論がやや後退している様子が窺える。同時に発表された景気の現状判断は50.0と前月から8.8ポイント上昇し、2011年８月（53.5）以来の水準を回復した。調査票の回収期間は２月３～17日と、新興国の動揺や米中景気の減速懸念で世界的に株価が調整した後のリバウンド局面と重なるが、先行き不透明感が払拭されず、全般に業況の重石となった可能性がある。
- 業種別の業況判断は、情報通信業を除く全業種が前月から低下（右図）。国・地域別の先行きの景況判断は、企業負担の軽減方針を発表したフランスが前月から改善（前月差＋0.9ポイント）したものの、ユーロ圏（同▲4.8ポイント）、ドイツ（同▲6.0ポイント）、米国（同▲7.8ポイント）、日本（同▲5.6ポイント）、英国（同▲2.0ポイント）、イタリア（同▲3.2ポイント）が揃って前月から悪化した。
- インフレ率の見通しは、ユーロ圏（前月差▲6.0ポイント）、ドイツ（同▲3.2ポイント）、フランス（同▲2.0ポイント）、イタリア（同▲3.7ポイント）が揃って前月から低下。何れの国も「上昇」の回答が「下落」の回答を上回っているが、一段のディスインフレを警戒する見方が増えている。

■ドイツ：景気の現状・先行き判断



出所：ZEW

■ドイツ：ＺＥＷの業種別景況感



出所：ZEW

■ドイツ企業景況感（季節調整済み）

	2013 1Q	2Q	3Q	4Q	2013 7月	8月	9月	10月	11月	12月	2014 1月	2月
ZEW景況感（先行き）	42.7	37.1	42.6	56.5	36.3	42.0	49.6	52.8	54.6	62.0	61.7	55.7
現状指数	8.6	8.9	19.8	30.3	10.6	18.3	30.6	29.7	28.7	32.4	41.2	50.0
Ifo景況感(総合)	106.1	105.3	107.2	108.8	106.1	107.6	107.8	107.5	109.4	109.5	110.6	—
現状指数	109.5	108.9	111.1	111.7	110.0	112.0	111.4	111.3	112.3	111.6	112.4	—
先行き指数	102.9	101.8	103.4	106.0	102.3	103.4	104.4	103.9	106.6	107.4	108.9	—
PMI製造業指数	49.7	48.7	51.2	52.9	50.7	51.8	51.1	51.7	52.7	54.3	56.5	—
サービス業指数	53.8	49.9	52.6	54.0	51.3	52.8	53.7	52.9	55.7	53.5	53.1	—

出所：ZEW、Ifo、Markit

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見通しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。